

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



▶ 階上中学校 3年A組



▶ 階上中学校 3年B組

中学生模擬議会
階上町の未来を担う中学生が、町政、町議会の仕組みや役割を学び、意見発表の機会を通じ、議会を身近に感じてもらうことを目的に、2回目の中学生模擬議会を開催しました。議長や議員を体験し、答弁者となる議員に自ら考えた質問を問いました。



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

【12月定例会】	議場改修工事費に401万9千円計上 ……	2～3ページ
【ここが聞きたい】	議員3名が一般質問 ……	4～7ページ
【中学生模議議会】	階上中学校3年生による模擬議会開催 ……	9～13ページ

※定例会・臨時会の議事録は階上町HPに掲載しています。

第6回 12月定例会

令和7年第6回定例会を11月28日開会し、12月4日閉会しました。
今回の議会では、条例の制定2件、条例の一部改正3件、補正予算3件など議案12件をいずれも原案のとおり可決、承認しました。
他に議案3件を可決。一般質問は、3人の議員が行いました。

議案書はこちらから読み込めます。



議会議案QR

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
議案第1号	施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ※施設使用料の見直しに伴い、関係条例を整備するもの	原案可決	—
議案第2号	階上町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ※乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの	原案可決	—
議案第3号	階上町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合を改めるもの	原案可決	—
議案第4号	階上町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※青森県人事委員会勧告に準じ、職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改めるもの	原案可決	—
議案第5号	階上町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※会計年度任用職員の給料月額を改めるもの	原案可決	—
議案第6号	令和7年度階上町一般会計補正予算（第3号） ※既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ1億3,279万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を69億7,144万6千円とするもの	原案可決	3ページ
議案第7号	令和7年度階上町介護保険特別会計補正予算（第2号） ※既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ20万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14億6,584万8千円とするもの	原案可決	3ページ
議案第8号	令和7年度階上町下水道事業会計補正予算（第1号） ※既定の収益的収支予算における支出について249万2千円を減額し、累計予定額を3億1,211万円とし、既定の資本的収支予算における支出について119万2千円を増額し、累計予定額を2億5,886万7千円に補正するもの	原案可決	3ページ
議案第9号	はしかみハマの駅あるでい〜ばに係る指定管理者の指定について ※はしかみハマの駅あるでい〜ばの指定管理者を指定するもの	原案可決	3ページ
議案第10号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更について ※構成団体の減少により規約を変更するもの	原案可決	—
議案第11号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組規約の変更について ※構成団体の減少により規約を変更するもの	原案可決	—

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
議案第12号	階上町固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて ※1人の委員の任期満了に伴う後任の委員を選任するもの	原案可決 (同意)	3ページ
議会案第1号	階上町議会の議決すべき事件を定める条例の制定について ※議会の議決すべき事件について所要事項を定めるもの	原案可決	—
議会案第2号	階上町議会議員政治倫理条例の制定について ※階上町議会議員の政治倫理に関する事項について定めるもの	原案可決	—
議会案第3号	階上町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定について ※階上町議会議員の期末手当の支給割合を改めるもの	原案可決	—

※議長は裁決には加わりません。

補正予算の概要

▽7年度一般会計補正予算(第3号)

【歳入】

繰入金2億987万8千円等を減額し、地方交付税2億9321万4千円等を追加。

【歳出の主なもの】

青森県人事委員会勧告に準じた給与等改正に係る人件費2777万1千円、自立支援給付費2941万9千円、障害児通所支援事業給付費2497万4千円、国スポおもてなし会場の立木等移転補償350万8千円、議場改修工事費401万9千円等を追加。

▽7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

【歳出の主なもの】

介護保険システム改修委託料183万1千円等を追加。

▽7年度下水道事業会計補正予算(第1号)

【主な補正内容】

給与等改正に係る人件費を収益的支出249万2千円減額、資本的支出119万2千円増額。

その他の概要

▽はしかみハマの駅あるでいしばに係る指定管理者の指定について

●指定管理者となる団体の名称

一般財団法人はしかみふるさとラボ

●指定の期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

▽階上町固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めらるることについて

伊藤まり子氏の選任に同意。(再任。委嘱期間は令和7年12月22日から令和10年12月21日まで)



伊藤 まり子 氏

質疑あこれ

第6回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。



7年度一般会計補正予算

森 榮吉 議員

◆議場改修工事

問 議場改修工事401万9千円は議会改革の一環と理解しているが、具体的な工事内容、完成時期を確認したい。

答 総務課長 本会議における質疑応答の方式を一問一答方式、または一括方式とすることの対応に必要な改修を行うもの。工事内容は、質問席の整備、放送設備の移設、傍聴席より質問者の表情が見えるようモニターを設置。工事時期は、3月定例会後で、年度内完成の予定。

指定管理者の指定

大下 修 議員

◆はしかみハマの駅あるでいしば

問 ①指定管理者を新たに公募する方針に至った経緯と理由。②新たな公募の概略、公募時の指定管理料。

③現在の剰余金の額、事業終了したときの法人および剰余金の処分方法。④漁業者の所得向上の成果を伺う。

答 産業振興課長 ①現指定管理者には、漁業者の所得向上、累計170万人を超える来場者の達成など、交流拠点としての一定の成果を確認。次の段階として公募方式による選定が適当であると判断した。②令和9年度から新体制移行を目指すし、指定管理料は運営実績やコスト分析、社会経済状況を十分に考慮し積算を行い設定する。③令和6年度決算で利益剰余金2千688万7029円。法人および剰余金の処分は、法人の定款に基づき適正に進める。④令和3年度の漁業者の所得は基準年度と比較して26%増加という成果につながった。

知事を囲む行政懇談会

11月17日、青森市で開催された「知事を囲む行政懇談会」に長根岩夫議長が出席。



階上町表彰条例表彰 功労表彰 町議会議員12年以上在職



令和8年1月5日、ハートフルプラザ・はしかみにおいて、町表彰条例に基づく表彰式が行われ、森榮吉副議長へ町議会議員12年以上在職で功労表彰が授与されました。

連携中枢都市圏の形成に関する講演会

11月10日、おいらせ町で開催された「連携中枢都市圏の形成に関する講演会」に議員10名が参加し、地域公共交通の特徴と課題などについて学びました。

- 講師 福島大学 経済経営学類
教授 吉田 樹 氏
- 講演 『「選ばれる」地方都市圏に求められる地域交通戦略』



郡議長会議員研修会

11月20日、五戸町で開催された「郡議長会議員研修会」に議員10名が参加し、各町村の文化財と未調査資料の整理・研究と地域還元などについて学びました。

- 講師 五戸町教育委員会教育課
課長補佐 村本 恵一郎 氏
- 講演 「三戸郡の文化財と文化財保護について」



一般質問

第6回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。



ここが聞きたい

会議録はこちらから読み込めます。



議会会議録QR

■ 渡部 高明 議員 5ページ

- 1 階上町と県との協力体制と補助事業について
- 2 階上町の文化活動について

■ 大下 修 議員 6ページ

- 1 人口減少と町づくりについて

■ 中島 孝一 議員 7ページ

- 1 スクラム8の会の目的と階上町が参加している理由は
- 2 階上町の水稲とそばの生産について
- 3 階上町の漁業活動の状況について
- 4 公立図書館がこれまでできなかった理由について
- 5 中学校の統合の検討について



渡部 高明 議員

町と県との連携・協力体制と補助事業

〔町長〕 補助金の活用を図り、効果的な事業推進に努めたい

2点目の県補助事業の主な交付実績は合計でおおむね1億2000万円規模。

町と県との連携は一つの部署に集約されるものでなく、各事業を所管する担当課が、県の主管課と連携を取りながら、事前協議、予算要望、採択後の執行管理など必要な調整を行っている。

問① 1点目に階上町と青森県との間で、具体的にどのような組織や窓口を通じて連携・協力体制が図られているか伺う。
2点目に県の補助事業のうち、階上町を対象として実施されている数、また実際に補助金として交付された金額が、直近の単年度でどのくらいあるのか。

答① 町長

問② 県からの補助金の流れをつかむために、具体的な例を挙げて説明いただきたい。
答② 総合政策課長



町の補助事業については、幅広い分野で本町の事業を支える重要な財源であり、今後も有効活用し、町民生活の向上に努めてまいりたい。

問① 階上町の文化活動の実態について伺う。具体的に活動団体の数や参加人数、事業への支援、公民館・集会所の取り扱い方、また町の歴史編纂事業についても伺う。
答① 教育長

町の文化活動の実態と歴史編纂事業

〔教育長〕 今後も必要な整備を続けたい

文化活動は3つに分類でき、生涯学習活動について52講座、延べ参加者数は1274人、町民文化祭は出展者数848人、ステージ発表24団体406人となっている。伝統芸能活動は、えんぶりや駒踊りなど7団体、約230人の方が参加、自主的学習活動については32団体であり、活動への支援はできる限り行っている。公民館・集会所も施設ごとに条例で適切に取り扱われ、使用料も免除、減額の規定がある。町史編纂事業に関

しても未来に継承する体制を整え、必要な整備を続けてまいりたい。

問② 階上町の文化活動の裾野の広がりを感じた。自主運営講座は8名以上とのことだが開設ハードルを下げられないか。伝統芸能の継承には学校との協力体制を取り続けてほしい。
答② 教育課長

階上町の文化活動に対する貴重なご意見として受け止め、制度の在り方についても検討したい。



生涯学習活動（はしかみキャンパス）の様子



問③ 今年度から予算のついた社会教育複合施設に関して、旧来の図書館・民俗資料館に終わらせるだけでなく、文化活動の拠点、交流の場になれるよう時代に合わせた建物にしたい。ただきたいが、改めて町長の考えを伺う。
答③ 町長

町民のご意見を取り入れながら、図書館・民俗資料館、さらには世代を超えて人が集い語りコミュニケーションの生まれる場づくりを目指す。また観光に訪れる方への情報発信の拠点となるように進めてまいりたい。



おおした
おさむ
修 議員

人口減少の実態と町づくり

〔町長〕 国・県の施策動向を注視しながら、本町で実施可能な支援策の検討を進めたい

問① 令和7年4月1日の人口と

0歳から14歳の構成比、15歳から64歳の構成比、65歳以上の構成比を伺う。

答① 町長

① 令和7年4月1日の人口は124,677人。0歳から14歳が11,844人で9.5%、15歳から64歳が67,127人で53.8%、65歳以上が45,711人で36.7%。
② 金山沢、田代、晴山沢、平内、鳥屋部、角柄折の西部地区の人口と構成比及び町全体の人口比率。同様に荒谷、大蛇、追越、榊、駅前、道仏、小舟渡の東部地区と石鉢、蒼前、野場中と赤保内、耳ヶ吠西、耳ヶ吠東を伺う。
③ 4つの区域ごとの見解を伺う。
④ 町の出生数は年間50人程度で推移。見解と対策を伺う。
⑤ 近年の人口動態は、自然減130人、社会減(転入・転出)が40人で年間170人減少している。社会減に対する見解と対策を伺う。

① 令和7年4月1日の住民基本台帳人口は124,677人。0歳から14歳が11,844人で9.5%、15歳から64歳が67,127人で53.8%、65歳以上が45,711人で36.7%。
② 金山沢、田代、晴山沢、平内、鳥屋部、角柄折の西部地区の人口と構成比は、0歳から14歳が71人で5.5%、15歳から64歳が5,711人で44.4%、65歳以上が6,455人で50.1%、人口は12,877人で町全体比率は10.3%。荒谷、大蛇、追越、榊、駅前、道仏、小舟渡の東部地区は、0歳から14歳が2,147人で7.2%、15歳から64歳が14,322人で48.4%、65歳以上が13,111人で44.3%、人口は29,577人で町全体比率は23.7%。石鉢、蒼前、野場中は、0歳から14歳が4,757人で9.7%、15歳から64歳が28,537人で

58.3%、65歳以上が15,677人で32%、人口は48,955人で町全体比率は39.3%。赤保内、耳ヶ吠西、耳ヶ吠東は、0歳から14歳が4,247人で12.7%、15歳から64歳が18,567人で55.8%、65歳以上が10,488人で31.5%、人口は33,287人で町全体比率は26.7%。
③ 全国的な傾向と同様に少子高齢化が進んでいる状況と認識している。
④ 学校給食費やこども医療費の無償化、結婚新生活支援に加え、令和6年度からは0歳から2歳児の保育料無償化や、3歳から5歳児の給食費の助成など、国・県の制度を活用しながら子育て支援の充実を図ってきた。さらに妊婦のための支援給付事業、妊婦・産後検診の助成、産後ケア事業など、妊娠期から出産後まで支援整備にも努めている。今後も国・県の施策動向を注視しながら、本

町で実施可能な支援策の検討を進めてまいりたい。
⑤ 若者が町内で働き続けられる環境づくりが重要。地元企業と連携強化や企業誘致の推進を努めている。また移住・定住を進めるための支援・相談体制の充実など多方面から取り組みを進めている。

国や県の施策と連携を図りながら、本町として実施可能な施策を着実に進めることにより社会減の緩和につなげていきたい。





中島 孝一 議員

八戸都市圏スクラム8の目的



〔町長〕 8市町村の相互協力と連携の推進

【構成市町村】

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町

問① 会の目的は、八戸市と階上町の関係は。

答① 町長

連携中枢都市圏の八戸市と各周辺自治体は、市の高度な都市機能や広域サービスを活用しつつ、それぞれの地域資源を生かし相互に補完関係を形成して、圏域全体として経済成長や生活機能の向上・強化を図るため連携を進めている。また本町は八戸市に隣接し、住民の日常生活における相互依存度が特に高く、かつ地理的・経済的な結びつきの強さが八戸市と本町の関係の大きな特徴である。

水稲とそばの生産

〔町長〕階上早生そばのブランド価値を大切にしつつ、増産へとつなげる

問① 水稲の作付面積の減少理由

は、また階上早生そばを今後増産する考えは。

答① 町長

水稲の作付面積減少は、担い手不足と、中山

間地の小規模・不整形な水田でコスト削減が困難であることが要因と考える。階上早生そばの生産は、徹底した品質管理で品種の純粋性を保持し、ブランド価値を守っていくことが重要である。作付面積は拡大しているが、生産量は気象条件に左右される。増産には、所得に結びつく販売環境の整備が不可欠で、関係団体と町が連携を強化し、新たな加工品開発を進め、需要の裾野を広げ、販路を拡大することが肝要と考えている。

問② 地域特性を活かし、労働力不足に対応した農業の道

答② 産業振興課長

降雪量が少ない地域特性を生かしたハウス栽培や労働力不足に対応したスマート農業、作物の転換による多角化など、農業の未来に向けて、新たな道を探る必要がある。新たな技術導入を目指す農業者の、後押しに努める。

アブラメとウニの生産量

〔町長〕アブラメは回復、ウニは減少

問① アブラメやウニの生産量は、ウニの通年供給体制の構築に取り組み考えは。また、栽培漁業振興協会の製品の活用は。

答① 町長

アブラメ漁獲量は、回復してきている。またウニ生産量は磯焼けによる海藻不足で減少傾向にあるが、深浅移植などの対策をしている。生ウニの通年供給には限界がある。なお栽培漁業振興協会が町内に存在することは大きな強みで、本町漁業を足元から支える重要なパートナーである。今後も、協力関係を継続し連携していく。

問② 藻場の衰退や磯焼けに対する取り組みは。

答② 産業振興課長

藻場の再生と磯焼け対策について、県事業の一

環で昨年度藻場礁を設置した。さらに栽培漁業振興協会から購入したマコソウの種糸を使う増殖への取り組み、またドブ漬けという手法による昆布の栽培養殖に取り組んでいる。またウニやアワビなどの計画的な種苗放流を行うなど対策を進めている。



連携した流の放流と事業の連携の様子

複合施設として整備する理由

〔教育長〕町民の将来にわたるニーズに応える、最も適した形であると確信

問① これまで図書館建設の希望

は、また複合施設として整備する理由は。

答① 教育長

令和3年度の小中高生と保護者のアンケートで、約2割の希望があった。また複合施設としては、総合振興計画にお

る位置付け、現民俗資料収集館の著しい老朽化対策から、図書館と民俗資料収集館の機能を合わせた施設の方針が示され、さらに交流機能を併せ持つことで、子ども達が学び、地域の文化に触れ、保護者や高齢者も自然に交流できる拠点となり、また観光客にも情報発信の場となる。

今後の中学校統合に対する方針

〔教育長〕来年度検討委員会を設置し、引き続き検討したい

問① 現状の道仏中止まらぬ。今後の統合に対する方針を説明願う。

答① 教育長

昨年度アンケートを、今年度は地区説明会を開催した。これらは統合を前提としたものではないが、保護者および地区の皆様から直接ご意見等を伺いたく開催したものである。来年度は中学校再編検討委員会を設置し、今後の中学校の在り方について検討してまいりたい。

第7回臨時会

令和7年12月25日に招集された第7回臨時会では、町議会一般選挙（繰上補充）に関連する事項のほか、議案1件が上程され、審議の結果、全会一致で可決されました。

▽町議会議員の自動失職及び繰上当選について

小松雅彦氏が公職選挙法第90条の規定により、令和7年12月9日付けで町議会議員の職が自動失職となったことにより、令和7年12月14日付けで、磯島富盛氏（77）が町議会議員の繰上補充による当選人となりました。



いそじま とみもり 議員 磯島 富盛

▽議席の指定及び変更

- 1番 磯島 富盛
- 2番 土橋 美加佐
- 3番 渡部 高明
- 4番 中島 孝一
- 5番 熊谷 道雄
- 6番 小坂 正年
- 7番 下沢 育男
- 8番 大下 修

▽議会運営委員の選任

欠員が生じていた議会運営委員会の委員の選任を行いました。

委員 渡部 高明

▽常任委員の選任

欠員が生じていた常任委員会の委員の選任を行いました。

【産業建設常任委員会】

委員 磯島 富盛

▽常任委員会委員長、副委員長の選任

常任委員会による委員長、副委員長の互選を行いました。

【産業建設常任委員会】

委員長 小坂 正年
副委員長 中島 孝一

■補正予算
7年度一般会計補正予算（第4号）

【歳出の主なもの】

はしかみ家計支援商品券事業に係る経費1億9757万6千円、物価高対応子育て応援手当支給事業に係る経費3千129万3千円、生活困窮者に対する灯油購入費助成事業に係る経費1千203万3千円、令和7年10月31日から11月1日にかけての豪雨災害の対応に係る経費932万5千円等を追加。

質疑あれこれ

▽はしかみ家計支援商品券事業

エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている生活者及び町内事業者を支援するため、全町民1人当たり1万5千円の商品券を配布。

▽物価高対応子育て応援手当支給事業

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、0歳から18歳までの児童手当対象児童に、1人当たり2万円の応援手当を支給。
▽生活困窮者に対する灯油購入費助成事業
住民税非課税世帯を対象に、一世帯当たり7千円を支給。



質疑あれこれ

第7回臨時会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

大下 修 議員

◆生活困窮者に対する灯油購入費助成事業費補助金

問 ①具体的に世帯主の口座に2月13日に現金を振り込むという理解でよいか。②3月13日申請期限とは振り込み完了の意味か。③生活困窮者の定義は。

【答】 介護福祉課長 ①スケジュール予定の1月23日に対象世帯に文書を発送、2月13日に第1回目の振り込みがされる。②3月31日が事業の終了日となっているため、受付や審査の期間を考慮し、3月13日を申請の締め切りとしている。③県の事業名が生活困窮者世帯への灯油購入費助成事業となっており、明確な生活困窮者の定義はしていない。令和6年度同様の事業を実施しており、前回同様、生活困窮者を住民税非課税世帯として助成を行うことにした。

分析結果を伺いたい。

【答】 産業振興課長 前年度の1人当たり1万円の内訳は共通券7千円、専用券3千円。実績は、全体の利用率99・08%を記録。約4か月の短い期間に配布額のほぼ全額、金額で1億2308万円。共通券の多くが大型店での購入に充てられ、家計支援の直接的な軽減に寄与。地元商店等で利用可能な専用券も、換金額3667万5千円、98・41%という高い実績。前年までの枠組みは、実情に即していると分析している。5千円の増額分は、より利便性を高めて、迅速に家計を支援する観点から設計した。

◆物価高対応子育て応援手当

問 1月19日から公務員分の申請受付、2月6日対象児童にプッシュ型で振り込みとある。分かりやすく説明を願う。

【答】 すこやか健康課長 国の児童手当の仕組みとして、公務員は所属庁から支給。公務員世帯は町から勧奨通知を出し直接申請を受け付ける。公務員世帯以外の児童は、町から2か月ごとに支給しており、口座が分かっていることからプッシュ型で振り込む。

◆河川維持工事

問 入札なのか随意契約なのか。契約方法を伺いたい。

【答】 建設課長 早期着手を目指すため、200万円までの工費は随意契約、200万円を超える工事は入札により決定していく。

◆農地等災害復旧工事

問 個人負担と町負担の事業の負担割合を伺う。

【答】 建設課長 補助金交付規程に基づき、工事費の65%を町が、35%を受益者が負担することと定められており、これにより受益者負担をお願いしていく。



中学生模擬議会開会



3年B組



3年A組



3年B組



3年A組

3年A組 大橋立誠議長



令和7年1月23日の道仏中学校に続き、令和7年12月22日に、階上中学校3年生による中学生模擬議会を開催しました。
66名の生徒は議会当日までに、学校の社会の授業の一環で、日頃の学校生活や地域での暮らしの中で感じていることを基に質問を考え、模擬議会に臨みました。

3年A組 宮崎巨太郎議長



当日は、61名の生徒が議員となり、演壇に登壇し、中学生の視点から、町の取り組みや課題について、真剣な表情で質問や提言を行いました。
また大橋立誠さん、宮崎巨太郎さん、寅谷斗真さん、鹿糠天さんの4名が議長を務め、議事を進めました。
普段は、質問者である議員が答弁者として座り、普段と違う議場の緊張感を感じながら、中学生議員の鋭い質問に答えました。
質問・答弁の内容は、一部を抜粋・要約し、質問順に掲載しています。



3-A 2班

議員 久井和暁
議員 宮崎巨太郎
議員 七戸悠斗

問 学校の改装工事を要望する。特別教室へのエアコン設置と学校の廊下を滑らないフロ어링にしたい。学習環境の向上と怪我防止のため、検討をお願いします。
答 土橋美加佐 議員 町では、令和2年度に町内全小中学校の普通教室へエアコンを設置した。しかし、近年の猛暑を踏まえ、特別教室にも快適な学習環境が求められているため、来年度は移動式冷房機器で、工事不要で簡単に使用できるスポットエアコンを全ての特別教室に2台ずつ設置する予定となっている。廊下の滑りにくい床材については、学校からの要望を確認し、児童生徒が安心して過ごせる学校環境づくりが努めていく必要があると考えている。



3-A 1班

議員 橋田大
議員 土橋大
議員 和奏唯美

問 クマ問題の解決策をどのように考えているか。クマの食料難を解決するため、山に木の実がなる木を植えることを提案する。また、狩猟ができる人を育て、クマが増えすぎないようにすればよいと思う。
答 磯島富盛 議員 人里へのクマの出没が深刻化し、出没は山間部だけではなく、中心市街地でも相次いでいる。クマが食料として人や動物を襲っている可能性があり、クマ問題は町の重要な課題である。提案のあった狩猟者育成は町でも補助を行い支援している。山にクマの好む木の実がなる木を植えるという提案は素晴らしい発想で今後の参考にしたい。現在は、注意喚起や捕獲等で安全確保を最優先しつつ、更なる対策に取り組んでいきたい。

問 道仏方面に街灯が少なく、暗い時間帯になると危険に感じる。町役場から海方面へ向かう道路で鹿などの動物を見ることがある。暗い時間帯はよく見えないため、不安に感じると聞くことが多い。街灯を設置する予定はあるか。



3-A 3班
玉川 結唯 議員
相田 さくら 議員
あいの野里 紗雪 議員

答 渡部 高明 議員 通学路や帰り道など、不審者や動物が潜みやすい暗い環境を改善するため、町内に2265基の防犯灯が設置されている。新規設置の要望は、初めに住民から地区の町内会長に相談をし、町内会長は必要性を検討し町に相談をしていただく。現在、設置されている防犯灯は、電気料金や修繕の一部費用について町が負担し、地域の負担軽減を図り、住民の安全を守る環境整備を行っている。今後町内会と連携し、住民が安心して生活できる環境づくりを進めていきたい。

問 国道沿いにはコンビニが多くあるが、住宅地の方にはあまりなく不便を感じている。町では、商業地を広げるための政策を行っているか。快適に生活するため、商業地の拡大を提案する。



3-A 5班
西澤 春人 議員
しほの野月 瑠斗 議員
しもの下久保 龍斗 議員

答 熊谷 道雄 議員 民間事業者が出店しやすい環境づくりを進めている。生活基盤の整備を進めるほか、人口や交通量の調査結果など必要に応じて情報提供を行っている。コンビニは利用者見込みなど総合的に判断し出店場所を決める仕組みのため、町が直接建設することはできないが、必要な情報提供や基盤整備を進めていきたい。商業地拡大に関する提案は、生活をより便利にする視点から大変参考になる。今後もちづくりを進めていきたい。

問 町では近年、少子高齢化が進んでいるが対策しているか。また、町の良さを沢山の人に知ってもらったり、多くの人に町に来てもらえるように、階上の良いところを紹介できるカフェの建設やSNSでの情報発信を提案する。



3-A 4班
河村 りいな 議員
まへの田結 名議員
まえの田結 名議員
かみの上平 和奏 議員

答 中島 孝一 議員 町も全国と同様少子高齢化が進んでいる。町では子ども医療費無償化や保育環境の充実、新築住宅支援、移住相談窓口の設置などを行っており、引き続き子育てしやすいまちづくりを進めていきたい。また高齢者が安心して暮らせるよう、生活支援の充実にも取り組んでいる。町には豊かな自然、食材などたくさん魅力があり、観光ネットワークや地域おこし協力隊と連携し、SNSを活用した魅力発信を進めている。今後取り組みを進めていきたい。

問 国道ではない道が整備されていないように感じる。特に登下校時は歩道が狭く、車道と歩道を分ける縁石などが無いため車が近くとも危険である。今後、階上中学校の学区内で歩道を整備する予定はあるか。歩道の縁石の設置を要望する。



3-A 6班
藤 友加 議員
つとむの空 議員
こまつほの春 議員
おの前の星 心春 議員

答 小坂 正年 議員 縁石は、車道と歩道の境界を明確にするだけでなく、歩行者のための障壁としても機能する。町内の一部の町道は、歩道幅が狭く安全確保が課題であると認識している。町では、通学路安全点検の結果を踏まえ、順次整備を行うこととしており、現在は国道から石鉢小学校付近へ向かう歩道の整備事業を進めている。今後も計画的に交通安全施設整備を推進し、安全対策の充実に努めていく。

問 町に屋内で運動ができる施設が少ない。運動できる場所が遠いと移動に時間やお金がかかり、運動をしなくなると体力低下などデメリットがある。運動をするとストレス解消や免疫が上がるなどメリットがあるため、運動ができる施設建設を要望する。



3-A 7班
安田 稀 議員
すけの村 心月 議員
わたらの江 那月 議員

答 下沢 育男 議員 運動は体力向上だけでなく、気分転換やストレス解消にも効果がある。現時点では、新たに運動できる施設を建てる予定はないが、町には町立体育館が2か所あり、学校の体育館や校庭、町民プールやトレーニングルームも利用できる。今後も生涯を通じて運動に親しめる環境づくりに努め、誰もが健康づくりに取り組みやすいまちを目指していきたい。

問 町には夏季のイベントがたくさんあるが、冬季のイベントは少ない。冬季にどのようなイベントが開催されているのか。町活性化のため冬季のイベントを増やすべきだと思う。役場や道の駅にイルミネーションを設置したり、雪を使ったライトアップをするのはどうか。



3-A 8班
若宮 菜葉 議員
なかじょうの帆 議員
あけの明 議員
いとうの白花 議員

答 大下 修 議員 町では冬季イベントが夏季より少ない状況である。現在は、毎年2月にわっせ交流センターで早生えんぶり祭りを開催し、伝統文化の継承に努めている。イルミネーションやライトアップの提案は、地域活性化に繋がる大変貴重な意見だと思う。今後の町活性化に向けての検討課題とし、冬季イベントの充実に努めていきたい。

問 階上中学校前のバス停でバスを待っているとき、雨で傘をさしているのに傘がぶつかり邪魔になってしまふ。傘のない生徒はすぶぬれで待っている。バス停に屋根をつける予定はあるか。また雨よけの屋根を設置することは可能か。



3-A 北野澤 議員
9班 柳沢 議員

答 林 貢 議員 階上中学校前のバス停において、雨の日に傘がぶつかったり、傘を持たない生徒が濡れてしまふといった不便があることを承知している。現在のバス停は民地を借りて設置しており、町が工作物を設置することに一定の制約がある。屋根の設置は、安全・安心の確保という観点から大切な意見である。土地の所有者やバス事業者とも協議し、必要な手続きや費用面も検討が必要。安心してバスを利用できる環境づくりに努めていきたい。

問 ボールを使用して遊ぶことのできる公園が欲しい。体を鍛えたいが、町のジムは保護者がいないと使うことができず不便。中学生だけでもジムを利用できるようにしてほしい。利用できる日や時間を新聞などで提示してほしい。



3-A 鈴木 議員
11班 猪鼻 議員
奥合 議員

答 大江 和夫 議員 公園は、周囲の利用者にボールが当たるなどの事故防止の観点から、基本的にボール遊びが禁止されている。安全で安心して公園を利用できるよう運用しており理解をお願いする。トレーニングルームは、常時見守りを行う職員がいいため、安全面を考慮し、中学生だけの利用を制限している。利用できる日時は、町ホームページで周知しているほか、新聞にも開館時間を掲載しているが、今後の改善に生かしていきたい。

問 町に社会教育複合施設をつくと聞いたが、ぜひつくっていただきたい。設置場所はどこになる予定でいつ頃完成予定か。またその図書館に学習席を設置する予定がなければ設置してほしい。



3-B 磯島 議員
1班 富盛 議員
福士 議員
鹿糠 議員
栗田 議員

答 磯島 富盛 議員 現在町では、図書館機能、資料館機能、活動・交流機能などを持った、社会教育複合施設の整備を進めている。施設は現在の役場敷地内の商工会のある場所としている。オープンは今令和12年度を予定、図書館機能を中心にさまざまな学びや交流の場を提供することとしている。意見のあった学習席については、学習環境向上の観点からしっかりと設置し、中学生をはじめ町民の皆さんが安心して学べる施設を目指していきたい。

問 近年農家の割合が低く、このまま農家が減り続けると、町内で地産地消ができなくなってしまう。町の農業を守っていくため農業の活性化を行うべき。効率化を図るため、コンピューターやAIの技術を取り入れる予定はあるか。農業に興味を持ってもらうため、農業体験などを行うと良いと思う。



3-A 大橋 議員
10班 立誠 議員
おぎの 議員
萩 議員
しむら 議員
下平 議員

答 百目木 和俊 議員 人口減少と高齢化が進む中、スマート農業の普及は大変重要なことだと考えている。町内ではミニトマト栽培で、環境自動制御システムの導入が始まっており、町はこの取り組みへの支援を行っている。提案の農業体験イベントは、担い手育成にとっても有効なことだと思ふ。町での早期実現に向けて、関係機関と具体的な方法を検討していく必要があると考えている。



3年B組 寅谷 議員
斗真 議長



3年B組 鹿糠 議員
天 議長

問 ソーラーパネルの設置で設備の盗難、クマの出現増などを耳にした。町内のソーラーパネルの設置状況について、どのくらいの枚数が、どのくらいの予算をかけて設置されているのか。また森林の減少率についても聞きたい。



3-B 細越 議員
2班 斗輝 議員
と 議員
圭剛 議員
おはた 議員
小幡 議員

答 土橋 美加佐 議員 事業者が町内にソーラーパネルを設置した場合、取得金額や土地の面積が申告され、町では固定資産税を課す。令和6年度末現在168箇所、総面積は71万8千㎡。令和6年度から7年度にかけて8箇所、面積は1万7千716㎡増加。予算規模は、昨年新規事業者の申告額合計は約1億1千630万5千円程度。木を伐採した土地は「山林」から「雑種地」に変更になり、この地目変更の実績を踏まえ、初めて設置された平成26年から令和7年までで、約41万3千㎡の山林が減少している。

問 帰りにバスを利用するが、一般の方も乗車するの
で台数が足りないと感じる。また、雪や雨で風邪を引
くことが懸念されるため、中学校前のバス停へ屋根の
設置を検討してほしい。予算の目安やそのお金がどこ
から来るのかも教えてほしい。



3-B 渡部 高明 議員
3-B 愛 未 議員
3-B 橋本 来未 議員
3-B 小節 源 議員
3-B 藤 齋 議員

答 渡部 高明 議員 現在の路線バスは一般の方も乗
車し、時間帯によって混み合う状況が生じている。今
後バス会社と相談し、増便が可能か引き続き検討が必
要と考えている。バス停の屋根の設置について、現在
個人から土地を借りている状況。安全に設置できるか、
工事が可能か確認を行い、検討が必要。費用はおおよ
ね300万円から6
00万円の見込み。
税金が主な財源とな
るほか、補助金が活
用できる場合は併せ
て検討していく。安
全な通学環境は大変
重要であり、課題の
解決に取り組んでい
きたい。

問 住んでいる地域で、思いっきり球技ができる公園
が少ないと感じる。公園などを設置する予定はあるか。
また、町には有効活用できそうな土地が多くあると思
う。この土地を活用し、サッカーコートやバスケット
コートなどを設置してほしい。



3-B 熊谷 道雄 議員
3-B 遠藤 貴 議員
3-B 木 心 議員
3-B 駒 木 加 議員
3-B 遠藤 貴 議員
3-B 木 心 議員
3-B 駒 木 加 議員

答 熊谷 道雄 議員 新しい公園、サッカーやバスケット
ボールができる施設整備には、土地の確保や安全対
策、維持管理費用など、多くを検討する必要がある。
子どもたちが安心して体を動かすことができる場所を
増やすことが大切である。有効に使えるような土地を活
用した運動スペースの整備は、地域活性化や健康づく
りの観点から大変参
考になる。今後どの
ような活用が可能か
調査し、安全に楽し
くスポーツに取り組
むことができる環境
づくりを進めていき
たい。

問 町に遊び場が少ないと思う。子どもの数が増えて
いくと遊べる場所が限られ、町から離れてしまう可能
性があると思う。今後、町に遊ぶ場所や公共施設を増
やす予定はあるか。公園やショッピングモール、公民
館などの設置を要望する。



3-B 下沢 育男 議員
3-B 北 大 議員
3-B 向 大 議員
3-B 平 和 議員
3-B 笹 喜 議員
3-B 山 雅 議員

答 下沢 育男 議員 公園や公共施設の整備は、土地
の確保や建設費、維持管理費用など、多くを検討す
る必要がある。新たな施設を増やすことは難しいが、子
どもたちの安心な場所づくりは大変重要。町では、社
会教育複合施設の基本設計を進め、多世代が利用できる
環境づくりを目指している。また、公園の遊具更新、
公民館活用など施設
改善に取り組んでい
る。今後必要な施設
の在り方について検
討を進め、子どもか
ら大人まで安心して
過ごせる環境づくりに
努めていきたい。

問 今のところ人口の減少は緩やかだが、人口流失を
防ぐために今行われている政策について教えてほしい。
また、ゆめみらい心ときめくふるさとづくりをする
ためどのようなことをするか。



3-B 山内 中 議員
3-B 田中 晃 議員
3-B 板橋 佑 議員
3-B 板橋 音 議員
3-B 板橋 海 議員

答 中島 孝一 議員 若い方や子育て世代に「住み続
けたい」と感じてもらう取り組みを進めている。子ど
も医療費の助成や保育環境の充実、移住相談窓口の設
置など、子育てしやすい環境づくり、また企業誘致の
推進や雇用の場の確保、地域の交流の場づくりなどに
も努めている。「ゆめみらい心ときめくふるさとづく
り」の理念は、将
来に向けて明るく希望
を持てる町の発展を
目指したもの。安心
して生活できる環境
づくりを進め、豊か
な自然を守り、その
魅力を活かした地域
づくりを推進する。

問 中学校や公園付近に自販機が少なく、夏に熱中症
や体調不良になる人がいる。自販機を置く予定はある
か。特にテニスコートや公園に置くことを希望する。



3-B 小坂 正年 議員
3-B 高田 泉 議員
3-B 坂下 凛 議員
3-B 中野 琉 議員
3-B 高田 泉 議員
3-B 坂下 凛 議員
3-B 中野 琉 議員

答 小坂 正年 議員 自動販売機は飲料メーカーや設
置事業者が、利用者数や安全面などを踏まえ設置場所
を判断する仕組み。町の施設も事業者との協議が必要
であり、設置スペースや電源の確保、利用状況など、
さまざまな条件が求められる。提案のテニスコートや
公園への設置は、利用者が多く、熱中症予防にも効果
が期待できることから大変参考となる。町としても、
事業者と協議を行
い、設置が可能か検
討し、引き続き安全
に活動できる環境づ
くりを努めていき
たい。

問 最近、不審者の情報をよく耳にする。下校中など、
1人の時は特に危険だと思ふ。町では不審者への対策
はどのようなことを行っているか。安全に歩けるよう
見回りなど強化してほしい。



3-B 中村 兼 議員
3-B 田中 兼 議員
3-B 前 兼 議員
3-B 中村 兼 議員
3-B 田中 兼 議員
3-B 前 兼 議員

答 大下 修 議員 町防犯指導隊が、毎週火曜日、小
中学校の下校時間に合わせ、午後3時台と7時台に、
学校周辺や通学路の巡回を行っている。また「子ども
110番の家」を町内48か所に、「防犯連絡所」を29
か所に設置し、避難場所を確保している。さらに、犯
罪が発生しにくい環境を整備するため、町内に226
5基の防犯灯が設置
されている。今後も
地域住民や学校、警
察と連携し、地域一
体となって、子ども
たちが安心して暮ら
せる町づくりを進め
ていきたい。



3-B
10班

議員 畑 凌 議員 伊藤 赤 議員 藤 舜 議員 伊藤 舜 議員 伊藤 舜 議員 伊藤 舜

の特別教室に2台ずつ設置し、熱中症対策を強化する予定。引き続き、安心して学べる快適な教育環境づくりを進めていく必要があると考えている。

問 階上中学校にはエアコンがない教室がある。夏の授業はとても暑く集中できない。熱中症になる可能性もあると思う。今後、学校のエアコンを増やす予定はあるか。特に特別教室へのエアコン設置を要望する。
答 百目木 和俊 議員 町では、令和2年度に町内の全小中学校の普通教室へエアコンを設置したが、近年猛暑が続く、各学校から特別教室へのエアコン設置を望む声が多く挙げられている。そこで来年度は、特定の場所を効率的に冷却するための移動式冷房機器で、工事不要で簡単に使用できるスポットエアコンを全て



3-B
9班

議員 谷 斗真 議員 谷 斗真 議員 谷 斗真 議員 谷 斗真

たお知らせをデジタル化するもので、郵送の手間や費用を大幅に減らすことができる。高齢者には丁寧な説明していく対応が必要と考えている。

問 スーパーアプリケーション、郵送DXツールとはなにか。導入することによってなができるのか。デジタル化することによって高齢者が対応できなくなってしまうことが心配。その場合どうするのか。
答 森 榮吉 議員 スーパーアプリは、複数のサービスや機能を一つのアプリ内で提供する統合型プラットフォーム。従来用途ごとにアプリを切り替える必要があったが、複数のサービスを一元管理し提供する。導入により、イベント、ごみカレンダー、防災情報など、町のお知らせやサービスなど、スマートフォンで送るようになる。郵送DXツールは、手紙で送っていた

3-A



3-B
11班

議員 北 上 議員 北 上 議員 北 上 議員 北 上

が負担し、地域の負担軽減を図り、生徒の安全を守る環境整備を行っている。今後、安全に通学・帰宅できる環境づくりを進めていきたい。

問 下校の際、帰り道に街灯が少なく困っている。特に部活動や学習会で帰りが遅い日は交通事故の原因になると思う。野生動物の出現も多く、夜道で遭遇しないか心配。町では街灯を増やす予定はあるか。暗い通学路に街灯を設置してもらえないか。
答 大江 和夫 議員 通学路や帰り道など、不審者や動物が潜みやすい暗い環境を改善するため、町内に2265基の防犯灯が設置されている。新規設置の要望は、初めに住民から地区の町内会長に相談をし、町内会長は必要性を検討し町に相談をする。現在設置している防犯灯は、電気料金や修繕の一部費用について町

3-B



議会活動

11 月

- 10日 連携中枢都市圏の形成に関する講演会
- 11日 県選出国会議員との懇談会
- 11日 町村議会議長全国大会
- 17日 知事を囲む行政懇談会・意見交換会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 郡議長会議員研修会
- 21日 第47回町社会福祉大会
- 28日 第6回定例会本会議
- 28日 議員全員協議会
- 28日 教育民生常任委員会

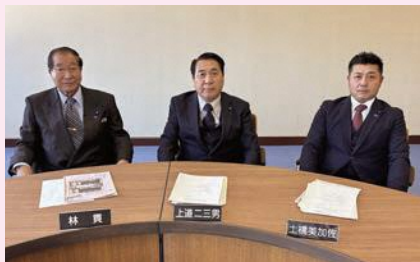
12 月

- 2日 第6回定例会本会議
- 4日 議会運営委員会
- 4日 第6回定例会本会議
- 6日 階上小学校創立150周年記念・閉校式典並びに思い出を語る会
- 12日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 18日 令和7年度第3回はしかみ産業振興委員会
- 18日 模擬議会に係る打合せ会

- 22日 中学生模擬議会
- 22日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 22日 議員全員協議会
- 22日 産業建設常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 25日 議員全員協議会
- 25日 第7回臨時会本会議

1 月

- 5日 町表彰条例・文化賞・スポーツ賞表彰式
- 5日 町民新年互例会
- 9日 議会だより編集委員会
- 11日 町消防団出初式
- 11日 町成人式
- 14日 町交通死亡事故ゼロ4000日達成祝い及び交通死亡事故抑止決起集会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 17日 新郷村（旧戸来村・旧野沢村）合併70周年記念新春の集い
- 21日 議場改修に係る打合せ会
- 23日 議会だより編集委員会



議会だより編集委員会
 ◇今月号の編集委員（3人）
 ・土橋美加佐議員（教育民生）
 ・上道二三男議員（総務財政）
 ・林 貢議員（産業建設）

議長交際費執行状況

支払月日	支払区分	支払内容	支出金額
11/11	会費	県選出国会議員との懇談会	8,500円
11/17	会費	知事を囲む行政懇談会意見交換会	7,000円
11/20	会費	郡議長会議員研修会懇親会	5,000円
12/6	会費	階上小学校思い出を語る会	7,000円
1/17	会費	新郷村合併70周年記念新春の集い	6,000円

編集後記

今年は、60年に一度の丙午の年です。「躍動」・「成功」・「勝負運」、力強く前進するとされています。議会としても議会改革を進め、より町民の皆様へ開かれた議会運営を目指したいと思います。
 （林・上道・土橋）

議会傍聴者数（延べ人数）

- ・第6回定例会（令和7年12月）
 11月28日（3人）
 12月2日（14人）
 12月4日（6人）
- ・第7回臨時会（令和7年12月）
 12月25日（5人）

議会を傍聴しませんか

議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。